

科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」の推進 ～客観的根拠に基づく合理的な政策決定のための科学～

平成25年度政府原案 : 737百万円
(平成24年度予算額 : 757百万円)

※運営費交付金分を除く

資料1
科学技術イノベーション政策
のための科学推進委員会
(第12回) H25.02.19

事業全体の目標

- 様々な社会的課題のうち、科学技術イノベーション政策によって解決すべき課題を科学的な視野から発見・発掘すること。
- 政策課題を同定し、経済的・社会的影響分析を盛り込んで選択可能な複数の政策オプションを立案すること。
- 立案された政策オプションを適切に選択・決定・実施することにより、政策課題の解決を目指すこと。



SciREX政策形成実践プログラム（仮称）

平成25年度予算額：134百万円
（新規）

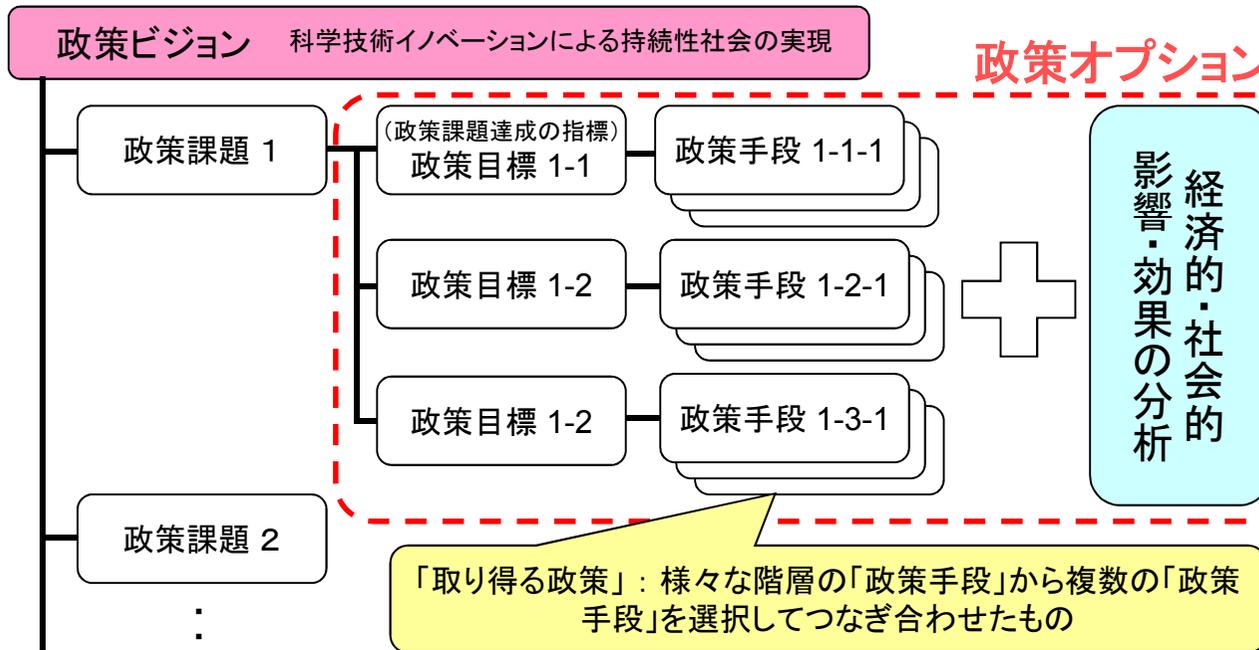
(SciREX: *Science for RE-designing Science, Technology and Innovation Policy*)

事業の狙い

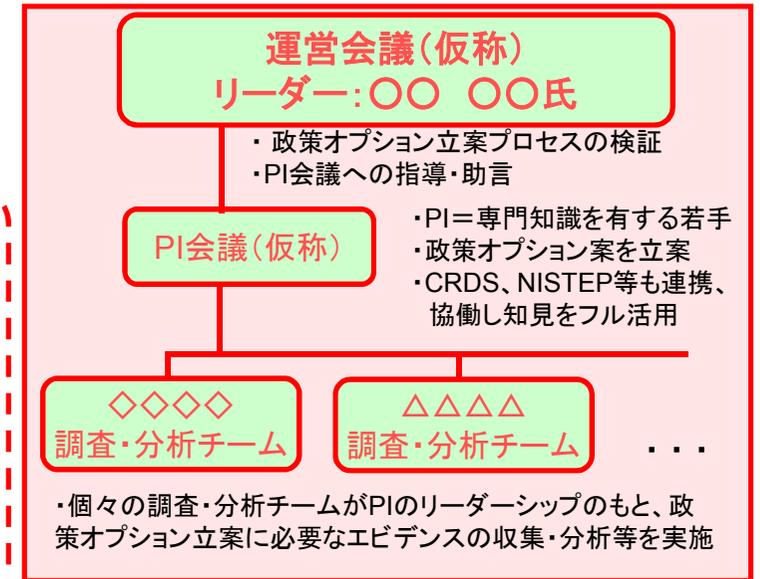
- 「政策のための科学」で設定されている事業全体の目標(政策オプションの立案等)達成に向けて、政策形成プロセスの各要素を一貫して実践し、実際の政策形成に活かすとともに政策課題の解決を目指すこと。
- 既存の各プログラム等で産出される成果を実際に政策形成に活かすための仕組み作りを行うこと。

「政策オプション」とは：

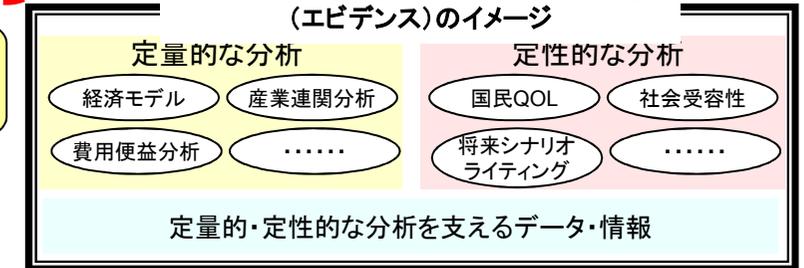
政策課題の解決に向けて、「取り得る政策」とその「経済的・社会的影響・効果の定量的・定性的な分析の結果」から構成されるものであり、複数の選択肢によって示される。



実施体制のイメージ



政策オプションの作成に必要な客観的根拠 (エビデンス)のイメージ



↑ 収集・作成・改変・加工・集積・体系化 ↓



具体的な「政策課題」の例※：

- ライフイノベ：予知予防を重視した健康長寿社会の実現
- グリーンイノベ：太陽光を利用した革新的技術等による安定したエネルギー需給構造の実現
- 横断的事項：我が国においてより優れたイノベーションを生み出すための人材システムの構築

平成25年度は、ライフイノベーションの課題について試行を行う。グリーンイノベーション、横断的事項の課題については、試行の成果を活用しつつ、次年度以降に取り組む予定